

平成29 (2017)年度 ティーチング・アシスタント 申請書

年 月 日

大学院法学政治学研究科長 殿

専攻 課程 年次  
(2017年4月1日現在)

学生証番号 \_\_\_\_\_

申請者氏名 \_\_\_\_\_ (印)

連絡先：内線 \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_

携帯等: \_\_\_\_\_

指導教員氏名 \_\_\_\_\_ (印)

指導教員と相談のうえ、下記のとおりティーチング・アシスタントに申請します。

記

授業科目名 ( )

開 講 (法学部・総合法政専攻・法科大学院)  で囲む

合 併 (法学部・総合法政専攻・法科大学院・公共政策)  で囲む

開講セメスター・曜日・時限 ( セメスター 曜日 限)

授業担当教員氏名 ( )

希望勤務時間 ( 曜 : ~ : ) 合計

( 曜 : ~ : ) [ 時間]

日本学術振興会特別研究員の採用 ( 有 ・ 無 )  で囲む

教育補助業務の内容 (授業担当教員記入)

特記事項 (指導教員記入)

※注意事項

- ・勤務日の少なくとも1日は、授業の行われる曜日を含むものとする。
- ・勤務時間は、原則として月40時間以内とする。ただし、週20時間を超えることはできない(日本学術振興会特別研究員に採用されているものは週5時間以内)。ただし、1日の勤務時間が8時間を越えることはできない。1週間に8時間を超えて勤務しようとする者は、週に2日の勤務日を要する。
- ・勤務は、原則として、授業期間内とする。